

高等部

年間指導計画

国語

令和 6 年度 年間指導計画

令和 6 年度 高等部 3 学年（Ⅱ 課程 A 類型①） 国語科 年間指導計画

単位 /配当時数		児童生徒について		担当者	教科書/副教材
2 / 7 0		高等部 3 学年 Ⅱ 課程 A 類型①		別紙記載	『くらしに役立つ国語』（東洋館出版社）
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようにする。 (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめたり、広げたりすることができるようにする。 (学・人) 言葉が持つ良さを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 《高等部 2 段階》			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 (思判表力) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。 (学・人) 相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとする態度を養う。 《高等部 2 段階》	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 (主学) 相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとしている。	「自己紹介・他己紹介をしよう」	自己紹介・他己紹介をしよう ①自己紹介・他己紹介の素材集め ②自己紹介・他己紹介の発表
		(知及技) 文章を音読したり、朗読したりすることができる。 親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。 (学・人) 詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとする態度を養う。 《高等部 2 段階》	(知・技) 文章を音読したり、朗読したりしている。 親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。 (主学) 詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとしている。	本をさがそう本に親しもう 詩「雨ニモマケズ」	詩の読み取り・音読 ①詩の内容を読み取る ②読み取った内容を基に工夫して音読する
		(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 (学・人) 身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとする態度を養う。 《高等部 2 段階》	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 (主学) 身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとしている。	表現力を高めよう①	敬語の種類や日常よく使われる敬語の学習 ①敬語の種類について ②身近な敬語について ③面接時の対応 ④面接のロールプレイング
		(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 (思判表力) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (学・人) 調べた内容をもとに構成を考え、書き方を工夫してポスターを作成しようとする態度を養う。 《高等部 2 段階》	(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主学) 調べた内容をもとに構成を考え、書き方を工夫してポスターを作成しようとしている。	平和ポスターを作ろう	NIEを活用して平和ポスターを作成する ①テーマを決める ②構成を考える ③内容を調べ、まとめる ④発表 ⑤ふり返り
		(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。 (思判表力) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることができる。 (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとする態度を養う。 《高等部 2 段階》	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。	手紙を書こう①	暑中見舞いを書く

令和6年度 年間指導計画

2 学 期	28	(知及技)生活に身近なことば（しまくとうば）を知り、使うことができる。 (思判表力)しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えることができる。 (学・人)言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技)生活に身近なことば（しまくとうば）を知り、使っている。 (思・判・表)しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えている。 (主学)言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとしている。	しまくとうばの学習 『しまくとうば読本』を活用する	しまくとうばの基礎知識やことばについての学習 組踊りや琉歌などの郷土の文芸
		(知及技)原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討することができる。 互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 (学・人)質問を考え、聞き取った内容をまとめて、他者に伝えようとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技)原因と結果など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討している。 互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 (主学)質問を考え、聞き取った内容をまとめて、他者に伝えようとしている。	インタビューをしよう	テーマを決めてインタビューする ①テーマを決め、インタビュー内容を考える ②メモの取り方について ③インタビュー（実践） ④インタビューの内容をまとめる ⑤報告
		(知及技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力)話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。 (学・人)身近な敬語を理解して、相手や場面に応じて使い分けようとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表)話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 (主学)身近な敬語を理解して、相手や場面に応じて使い分けようとしている。	表現力を高めよう②	日常よく使われる敬語の学習・場に応じた会話の仕方 ①身近な敬語について ②場に応じた話し方のロールプレイング
		(知及技)文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。 (思判表力)事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 (学・人)さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技)文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解している。 (思・判・表)事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (主学)さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとしている。	文章の読み取り①	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る
		(知及技)話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができる。 (思判表力)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人)手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技)話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付いている。 (思・判・表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学)手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。	手紙を書こう②	年賀状を書く
		((知及技)生活の中で使われる慣用語、故事成語などの意味を知り、使うことができる。 (思判表力)辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べることができる。 (学・人)辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技)生活の中で使われる慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。 (思・判・表)辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べている。 (主学)辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとしている。	辞書を活用しよう	国語辞典や漢字辞典を活用する

令和6年度 年間指導計画

3 学 期	16	(知及技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。 (思判表力) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができる。 (学・人) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解している。 (思・判・表) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けている。 (主学) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとしている。	文章の読み取り②	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る
		(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 (学・人) テーマ毎にこれまでの自分をふり返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 (主学) テーマ毎にこれまでの自分をふり返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとしている。	わたしの物語を書こう	自分史の作成
		(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。 (学・人) 相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 (主学) 相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとしている。	感謝の手紙	お世話になった方々へ感謝の手紙を書く
年 間 を 通 し て	(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。 (思判表力) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用している。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	漢字の読み書き	漢字の読み書き 小学校中学年から小学校高学年までの漢字の読み書きに取り組む。	
	(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 《高等部2段階》	(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	情報の読み取り	情報の聞き取り 聞き取り問題を活用し、必要な情報を聞き取る学習に取り組む。	
留意点 引き継ぎ		・季節行事や学校行事などの身近な話題をあげ、学習内容との関係性を示しながら学習への関心・意欲を高める。 ・個別の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

高等部

年間指導計画

数学

令和6年度 年間指導計画

令和6年度 高等部2学年（Ⅱ課程A類型①） 数学科 年間指導計画

単位 /配当時数		児童生徒について		担当者	教科書/副教材
2/70		2 学年 Ⅱ 課程A類型①		別紙記載	ひとりだちするための 算数・数学（日本教育 研究出版）
年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 《高等部1・2段階》			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題 材名	単元・題材の 活動内容
— 学 期	26	(知及技) ある量の何倍かを表すのに小数を用いることや小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。小数の加法及び減法の計算や乗数、除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。 (思判表力) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) ある量の何倍かを表すのに小数を用いることや小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。小数の加法及び減法の計算や乗数、除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算をしている。 (思・判・表) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元1「小数の仕組み」 単元2「小数と整数の乗法・除法」	・身の回りにある小数で表された量に気づき、それらの量を合わせたり、差を求めたりする。 ・小数の大小比較や計算についても整数と同じ考え方でできることを理解し、取り組む。
		(知及技) 小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことや乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味や余りの大きさについて理解し、小数の乗法及び除法の計算ができる。 (思判表力) 乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすることができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことや乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味や余りの大きさについて理解し、小数の乗法及び除法の計算をしている。 (思・判・表) 乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「小数の乗法・除法」	・整数同士の乗法と整数と小数の乗法を比べて、乗法を乗数が小数の場合でもできるようにする。 ・小数の乗法、除法共にその都度、計算に取り組む。
		(知及技) 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解し、分数が単位分数の幾つ分かで表すことができる。 (思判表力) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解し、分数が単位分数の幾つ分かで表している。 (思・判・表) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数の仕組み」	・計量カップやテープの長さを分数を使って表す活動を行う。
		(知及技) 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることや分数の加法及び減法の意味について理解し、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 (思判表力) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることや分数の加法及び減法の意味について理解し、同分母の分数の加法及び減法の計算をしている。 (思・判・表) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数の仕組み」	・分数を使った時刻や時間の計算に取り組む。 ・分数の加法・減法について取り組む。

令和6年度 年間指導計画

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題 材名	単元・題材の 活動内容
一 学 期		(知及技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることがや約数、倍数について理解することができる。 (思判表力) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部2段階》	(知・技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることがや約数、倍数について理解している。 (思・判・表) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「整数の性質」	・整数そのものを考察の対象とし、0以上の整数全体を2つに類別する仕方を考える。 ・乗法や除法に着目した観点で、整数が偶数や奇数の2種類に類別されることを理解する。
		(知及技) 四則の混合した式、()を用いた式や公式についての考え方を理解し、正しく計算することができる。 (思判表力) 問題場面の数量の関係や二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 四則の混合した式、()を用いた式や公式についての考え方を理解し、正しく計算している。 (思・判・表) 問題場面の数量の関係や二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「式と計算」	・四則を混合した計算や()を用いた計算を繰り返す行う。
		(知及技) 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めることができる。 (思判表力) 数量の關係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えることができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めている。 (思・判・表) 数量の關係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「式と計算」	・交換法則、結合法則、分配法則を活用した計算問題を繰り返す行う。
	28	(知及技) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。 (思判表力) 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導くことができる。 (学・人) 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解している。 (思・判・表) 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導いている。 (主学) 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「四角形と三角形の面積」	・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算を繰り返す行う。
		(知及技) 縮図や拡大図、対称な図形について理解することができる。 (思判表力) 図形を構成する要素及び図形間の關係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすることができる。 (学・人) 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部2段階》	(知・技) 縮図や拡大図、対称な図形について理解している。 (思・判・表) 図形を構成する要素及び図形間の關係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしている。 (主学) 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「縮図や拡大図」	・縮図や拡大図を作図する活動を通して互いに縮図や拡大図の關係にある図形は、その対応している角の大きさはすべて等しく、対応している辺の長さの比はどこでも一定であることを理解できるようにする。
		(知及技) ある二つの数量關係と別の二つの数量の關係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合などを求め、百分率を用いて表すことができる。 (思判表力) 日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。《高等部1段階》	(知・技) ある二つの数量關係と別の二つの数量の關係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合などを求め、百分率を用いて表している。 (思・判・表) 日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「数量關係の調べ方」	・割合を用いて数量の關係同士を比べる。 ・「定価の20%引き」「降水確率20%」など日常で用いられている百分率をチラシやテレビから見つけ、割合が便利な表現であることを気付く。

令和6年度 年間指導計画

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題 材名	単元・題材の 活動内容
		(知及技) 比例の関係の意味や性質、比例の関係を用いた問題解決の方法を理解することができる。 (思判表力) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしてすることができる。《高等部2段階》	(知・技) 比例の関係の意味や性質、比例の関係を用いた問題解決の方法を理解している。 (思・判・表) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「比例」	・具体的な場面を通して、比例関係の意味や性質を理解し、比例関係を用いた問題解決の方法を知る。 ・生徒自ら、日常生活において、伴って変わる2つの数量の関係を見いだし、問題解決に取り組む。
三 学 期	16	(知及技) 平均の意味や求め方を理解することができる。 (思判表力) 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすことができる。 (学・人) データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしてすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 平均の意味や求め方を理解している。 (思・判・表) 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。 (主学) データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用している。	単元 「平均」	・歩測によって廊下の長さを調べる活動等を行い、平均の意味や求め方を理解する。
		(知及技) 代表値の意味や求め方、度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解することができる。また目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 (思判表力) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察することができる。 (学・人) データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしてすることができる。《高等部2段階》	(知・技) 代表値の意味や求め方、度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。また目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解している。 (思・判・表) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。 (主学) データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「資料の調べ方」	・データ全体を表す指標として平均値、中央値、最頻値などの代表値の意味を理解し、用いる。 ・一つの数値で表すことで、データの特徴を簡潔に表すことができることに気付き、資料の特徴や代表値を用いる目的を明らかにしながら、どのような代表値を用いるべきか判断する。
留意点 引き継ぎ		・ 個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。 ・ 上記学習内容に加え、年間を通して「金銭処理」「暦」「時刻と時間」「電卓」の学習も行う。			

高等部

年間指導計画

理科

令和 6 年度 年間指導計画

令和 6 年度 高等部 1 年（Ⅱ 課程A類型①） 理科 年間指導計画

単位 /配当時数		児童生徒について		担当者	教科書/副教材
2/70		1 学年 Ⅱ 課程A類型①		別紙記載	小学館の図鑑NEO 科学の 実験
年間目標		(知及技) 人の体や身近な生物、物事などの仕組みや働きについて知識を深め、基礎的な技能をつける。 (思判表力) 自然の事物・現象についてよく観察し、理解を深めるとともに、自然と生活との関係についての仕組みに気付く力を身につける。 (学・人) 自然を大切にすることを育て、学んだ事を生活に活かそうとする態度を育てる。《高等部1, 2 段階》			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	(知及技) ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることがわかる。 ・川の上流と下流によって、川原の石や土などを運搬したり、堆積させたりする働きがあることがわかる。 ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日がつつにつれて中の子が変化していることに気づく。 《高等部1 段階》 (思判表力) ・雲の量や、天気の変化を観察できる。 ・川の上流と下流で、石の大きさや形の違いを観察できる。 ・メダカの成長を観察することができる。 《高等部1 段階》 (学・人) ・気象情報を検索することができる。 ・気象情報から合う衣服を考えることができる。 《高等部1 段階》	(知・技) ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 ・川の上流と下流によって、川原の石や土などを運搬したり、堆積させたりする働きがあることを理解している。 ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日がつつにつれて中の子が変化していることに気づいている。 (思・判・表) ・雲の量や、天気の変化を観察している。 ・川の上流と下流で、石の大きさや形の違いを観察している。 ・メダカの成長を観察している。 (主学) ・気象情報を検索しようとしている。 ・気象情報から合う衣服を考えようとしている。	○天気の変化 (B高1イ・小5) ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想 (天気予報) ○流れる水と土地 (B高1イ・小5) ・川の上流と下流と川原の石 ・流れる水のはたらき (浸食・運搬・堆積) ○動物の誕生 (A高1イ・小5) ・卵の中の成長	・空の様子 (午前・午後) の観察 ・方角 ・雲の種類 (10 種類) ・天気のかめ方 (雲の量) ・天気の変化のきまり ・気象情報の集め方 (インターネット検索) ・2 地点での天気の比較→天気は西から東へ変わる ・川の上流と下流の違い ・石の大きさや形の違い ・流れる水のモデル実験 ・メダカのオスとメス ・メダカ (卵の観察) 実体顕微鏡
2 学 期	28	(知及技) ・植物は種子の中の養分を基にして発芽することがわかる。 ・植物の生長には、日光や肥料などが関係していることがわかる。 ・花にはおしべとめしべがあり、実がなり、種子ができることがわかる。 《高等部1 段階》 (思判表力) ・動物の発生や成長について、魚を育てたり、人の発生について学ぶ中で、時間の経過と成長過程を関連付けて調べることができる。 《高等部1 段階》 (学・人) ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることがわかる。 《高等部1 段階》	(知・技) ・植物は種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 ・植物の生長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。 ・花にはおしべとめしべがあり、実がなり、種子ができることを理解している。 (思・判・表) ・動物の発生や成長について、魚を育てたり、人の発生について学ぶ中で、時間の経過と成長過程を関連付けて調べている。 (主学) ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを比較しようとしている。	○植物の発芽、成長、結実 (A高1ア・小5) ・種子の中の養分 ・発芽の条件 (水、空気、温度) ・成長の条件 (日光、肥料など) ・植物の受粉・結実 (めしべ、おしべ) ○動物の誕生 (A高1イ・小5) ・母体内の成長 (世界エイズデーに合わせて)	・インゲンマメの発芽比較 ①水あり・水なし ②空気あり・なし ③温度 (室温・冷蔵庫) ・種子の中の養分 (ヨウ素溶液) ・成長に必要なもの (予想 日光、肥料) ・水耕栽培 ・花のつくり (ゴーヤー) ・いろいろな植物の花粉 ・人の誕生 ・一回の出産で生まれる子の数 ・受け継がれる命

令和 6 年度 年間指導計画

3 学 期	16	(知及技) ・生物は水及び空気を通して、周囲の環境と関わって生きていることがわかる。 ・生物の間には食う、食われるという関係があることがわかる。 ・大気の循環や、水の循環など、人は環境と関わり工夫して生活していることがわかる。 《高等部 1 段階》 (思判表力) ・身の回りの生物について調べ、観察することができる。 《高等部 1 段階》 (学・人) ・身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づくことができる。 《高等部 1 段階》	(知・技) ・生物は水及び空気を通して、周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 ・生物の間には食う、食われるという関係があることを理解している。 ・大気の循環や、水の循環など、人は環境と関わり工夫して生活していることを理解している。 (思・判・表) ・身の回りの生物について調べ、観察している。 (主学) ・身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づこうとしている。	○生物と環境 (A高 2 学・小 6、中 3) ・生物と水、空気との関わり ・食べ物による生物の関係 (食物連鎖・食物網) ・人と環境 (生活の工夫)	・生き物と食べ物・空気・水 ・生き物と食べ物 ・人の食べ物について ・食物連鎖、食物網 ・大気の循環 (二酸化炭素、酸素) ・水の循環
留意点 引き継ぎ	・個別の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う				

高等部

年間指導計画

保健体育

令和6年度 年間指導計画

令和6年度 高等部1学年（Ⅱ課程A類型①） 保健体育科 年間指導計画

単位 /配当時数		児童生徒について		担当者	教科書/副教材
3/105		高等部1学年 Ⅱ課程A類型①		別紙記載	
年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。 (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。 《高等部1段階》			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一 学 期	39	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりしている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	体づくり運動 ・集団行動 ・体操 ・新体力テスト ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動	・集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右、行進等） ・音楽に合わせて身体部位をほぐす。（ストレッチ体操、特体連ダンス、リズムジャンプ） ・サーキットトレーニング ・スポーツテスト（50m走、100m走、ボール投げ - 握力、上体起こし、反復横跳び - 長座体前屈、シャトルラン、50m・100m走）
		(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	器械運動 ・マット運動 ・平均台運動 ・跳び箱運動	・マット運動（前転、後転、開脚前転、開脚後転） ・平均台運動（体操系歩走、バランス系ポーズ、バランス系ターン） ・跳び箱運動（開脚跳び）
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 (思・判・表) 武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとしている。	武道 ・空手	・普及型Ⅰ（礼の仕方、基本動作）

令和6年度 年間指導計画

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
二 学 期	42	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	水泳 ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・ターン	・水慣れ、水中ウォーミングアップ ・補助具を活用した泳法 ・呼吸法（息継ぎ）
		(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をしている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	・ダンス（郷土の踊り、現代的なリズムのダンス）	・伝統踊りであるエイサーの踊りの特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊る。 ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりをつけてリズムに乗って全身で自由に弾んで踊る。 ・音楽のリズムに同調する ・体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをして自由に踊る。
		(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	・陸上競技（短距離走、リレー、走り高跳び、ソフトボール投げ、長距離走）	・スタートダッシュ、腕振り（フォーム） ・ソフトボール投げ ・記録会 ・50m走、100m走、リレーバトンパス ・時間走 ・呼吸法、腕振り ・ストレッチ体操
三 学 期	24	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	・陸上競技（長距離走）	・時間走、ペース走 ・呼吸法、腕振り ・インターバルトレーニング

令和6年度 年間指導計画

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。《高等部1段階》	(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしてる。	・球技 (バスケットボール、風船バレー、バドミントン、卓球、ティーベースボール)	・パス、キャッチ、ドリブル、キック、シュートなどの基本動作練習 ・各球技のルール (特別ルールの工夫) ・攻め方、守り方(作戦の立て方)
年 間 を 通 し て		(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力)(学・人) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 《高等部1段階》	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表)(主学) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。	・保健	・ストレスへの対処、生活習慣病等の予防、性情報への対処、応急処置の仕方、災害時の備え、衣服の調整(寒暖差)、暑さ対策(水分補給、休養)
		(知及技)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くことができる。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付いている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組もうとしている。	・体育理論	・運動によって得られる効果、フェアプレイ、運動の獲得に向けた合理的な練習方法、技能の程度に応じた戦術や作戦の立て方
留意点 引き継ぎ		個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

高等部

年間指導計画

職業

令和 6 年度 年間指導計画

令和 6 年度 高等部 2 ・ 3 学年（Ⅱ 課程A類型①） 職業科 喫茶サービス班 年間指導計画

単位 /配当時数		児童生徒について		担当者	教科書/副教材
9/315		2 ・ 3 学年 Ⅱ 課程A類型①		別紙記載	ひとりだちするための進路学習 (日本教育研究出版)
年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践する力を養う。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 《高等部 2 段階》			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一 学 期	117	(知及技) ・職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。 (学・人) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 (知及技) ・職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。 (思判表力) ・産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。 《高等部 2 段階》	(知・技) ・職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けている。 (思・判・表) ・作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現している。 (主学) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとしている態度がみられる。 (知・技) ・職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めている。 (思・判・表) ・産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現している。	・就労の意義 ・情報機器の活用 ・技能検定 ・布製品作り ・各行事に向けた製品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・学習の振り返り	・キャリアノート等を活用し働く意義や将来の目標をまとめる。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び、表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・数種の検定から自ら選択し、繰り返しの練習から道具の扱いについて学ぶ。 ・基礎縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・実践的な校内の実習を体験する。 ・道具の適切な使用方法 ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。 ・清掃（作業場、トイレ、廊下、教室等） ・就業体験事前、事後学習 ・カフェ運営・校内販売会
二 学 期	126	(知及技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。 ・使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。 (思判表力) ・生産や生育活動等に関わる技術に込められた工夫について考えることができる。 ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。 (学・人) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 (知及技) ・職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。 (思判表力) ・産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。 《高等部 2 段階》	(知・技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。 ・使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱っている。 (思・判・表) ・生産や生育活動等に関わる技術に込められた工夫について考えている。 ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図っている。 (主学) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする態度がみられる。 (知・技) ・職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めている。 (思・判・表) ・産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現している。	・情報機器の活用 ・技能検定 ・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた製品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・学習の振り返り	・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び、表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・数種の検定から自ら選択し、繰り返しの練習から道具の扱いについて学ぶ。 ・実践的な校内の実習を体験する。 ・基礎縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用方法 ・適切な接客態度、実践について ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。 ・清掃（作業場、トイレ、廊下、教室等） ・就業体験事前、事後学習 ・カフェ運営・校内販売会

令和 6 年度 年間指導計画

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
三 学 期	72	(知及技) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟することができる。 ・職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができる。 (思判表力) ・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。 (学・人) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 《高等部 2 段階》	(知・技) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟しようとしている。 ・職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めている。 (思・判・表) ・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えている。 (主学) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする態度がみられる。	・技能検定 ・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた製品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・学習の振り返り	・数種の検定から自ら選択し、繰り返しの練習から道具の扱いについて学ぶ。 ・実践的な校内の実習を体験する。 ・基礎縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用方法 ・適切な接客態度、実践について ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。 ・清掃（作業場、トイレ、廊下、教室等） ・カフェ運営・校内販売会
年 間 を 通 し て		(知及技) 勤労の意義について理解を深めることができる。 (思判表力) 目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 (学・人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 (知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。 (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができる。 《高等部 2 段階》	(知・技) 勤労の意義について理解を深めている。 (思・判・表) 目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現している。 (主学) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 (知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作している。 (思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現している。	・調べ学習 ・買い物学習 ・調理実習 ・清掃	・知識を深めたり、視野を広げたりする。 ・計画、購入、準備の過程を学ぶ。 ・奉仕活動（給食ワゴン運搬） ・職業の心得復唱 ・実習事前事後学習 ・カフェ運営・校内販売会
留意点 引き継ぎ		個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			